

## 有意義な夏休みに

4月9日の始業式から始まった1学期、70日という日々を子どもたちも元気に無事過ごすことができたことに感謝申し上げます。明日からいよいよ夏休みです。子どもたちは期待と開放感でわくわくしていることでしょう。長い夏休み、長期休暇ならではの体験をいろいろして、心と体を鍛えてほしいと思います。そして、何より願うのは、2学期の始業式に全員の元気な顔がそろうことです。

さて、私が小学生の時、夏休みの主な宿題は、夏休みのドリルと、工作、自由研究、そして「お手伝い」でした。当時は、子どもが手伝うことがまだ多くありました。わたしの仕事は、夕方の庭木への水やりでした。「お手伝い」は、蚊にさされることが多く大変でしたが、「ありがとう、助かるわ」と親に言われた時は、自分が家族のために少しでも役に立っているのだと思い、うれしかったことを覚えています。本来、子どもも誰かのために役に立ちたいという思いを常に抱いています。この夏休み、家族の一員である子どもたちに、お手伝いを通して家庭生活への参画者になってもらい、そして、家族のために働いてくれたことへの感謝の思いを伝えてはどうでしょうか。きっと子どもたちは、人のために働くことのよさを実感し、自己肯定感も高まるのではないのでしょうか。

さて、1学期を振り返ってみますとみんなおだやかに過ごせたのではないのでしょうか。休憩時にもめることが減り、エーデルワイスの予鈴とともにお茶やトイレを済ませ、チャイムが鳴る頃には教室で学習の用意ができる日が多かったように思います。

各学級で、担任が一人ひとりに通知表をお渡ししました。そこには、1学期の間に力をつけたところやもう少し努力が必要な点について書かせていただいていますので、学習面だけでなく、生活の様子も含めてがんばれた点はしっかり褒めていただくとともに、これから努力すべき点は親子で話し合っておいていただければと思います。子どもたちみんな、これからいろいろな面で伸びていく素地があります。ご家庭での応援をよろしくお願いします。

校長 土井 安博